

令和元年度生涯学習部研修会（西濃地域）報告

日 時：令和2年2月1日(土) 13:00～16:00

場 所：大垣徳洲会病院 4階大会議室

テーマ：行動分析学を用いた脳卒中理学療法の理論と実践について

講 師：加藤 宗規 先生（了徳寺大学 健康科学部 理学療法学科 教授 副学科長）

鈴木 一史 先生（大垣徳洲会病院 リハビリテーション科）

参加人数：10名(スタッフ含)

【当日の様子】



生涯学習部研修会（西濃地域）は、了徳寺大学加藤宗規教授、大垣徳洲会病院リハビリテーション科の鈴木一史先生をお招きして、「行動分析学を用いた脳卒中理学療法の理論と実践」についてご講演頂きました。

加藤先生からは、行動分析学の基本から臨床での利用方法まで幅広く講演頂きました。日頃の患者さんとの何気ない一言で信頼関係を得ることができるのかなど明日からの臨床ですぐにでも利用できる内容が多くありました。Pusher 現象に対する具体的なアプローチ内容から臨床成績までをご提示いただき、大変興味深い内容ばかりでした。

また鈴木先生からは脳卒中理学療法の理論と実践について、大垣徳洲会病院での特性を生かした取り組みや、治療場面を動画でご紹介いただきました。入院時から転帰先を見据えたうえで多職種と連携を取りながら理学療法を行っていく重要性を再認識することができました。

最後に、貴重な時間を割いてご講演頂きました加藤先生、鈴木先生をはじめ会員の皆様、当日や準備を含め本研修会参加にあたりご尽力いただきました先生方に心より御礼申し上げます。

生涯学習部 小出 紘靖